

## 北マケドニア政府主催「プレスパ・ダイアローグ・フォーラム」 に際する山田外務副大臣からのビデオ・メッセージ

オスマニ・北マケドニア共和国外務大臣閣下、  
ご列席の皆様、

日本国政府を代表して御挨拶申し上げます、外務副大臣の山田賢司です。

この度、「プレスパフォーラム2023」の開催に際して、北マケドニア政府による西バルカンの欧州統合に向けた対話促進のための主体的なイニシアティブを高く評価いたします。同時に、今年のOSCE議長としてのオスマニ外務大臣の積極的貢献を含む、西バルカン地域での北マケドニアの域内協力及び民族融和の促進者としての主導的な役割に敬意を表します。

西バルカンの平和と安定は、欧州全体にとって、ひいては国際社会の安定的繁栄にとって重要であり、西バルカン諸国のEU統合はこれに資するものです。こうした考えの下、日本は、2018年に、「西バルカン協カイニシアティブ」を立ち上げ、西バルカン諸国のEU加盟に向けた経済社会改革を一貫して支援してきました。

ロシアによるウクライナ侵略によって国際秩序の根幹が挑戦を受けており、国際社会が前例のない歴史の転換期に立たされている今、西バルカンのEU統合の意義もその重要性を増していると言えるでしょう。こうした中で、西バルカンのEU加盟の展望について議論するこのフォーラムは、西バルカンにおける未来志向の議論をあらゆるレベルで深める絶好の場となるでしょう。

先月、日本は、本年のG7議長国として、G7広島サミットを開催しました。このサミットの大きなテーマであった「分断と対立ではなく協調の国際社会に向けて」は、西バルカンのEU統合の文脈にも通じます。

複雑な紛争の歴史を有する西バルカン地域において、様々な差異、分断や対立の過去を乗り越え、地域協力や善隣友好を実現することは容易ではありません。しかしながら、歴史的な「プレスパ合意」に由来する「プレスパ・ダイアローグ」の精神は、それが可能であることを示しています。

西バルカン諸国が、民主主義や基本的人権、法の支配といった基本的価値を共有する欧州の一員として安定と繁栄を実現していけるよう、我が国として、「西バルカン協カイニシアティブ」の下で、欧米のパートナー諸国とも連携しながら、引き続き、西バルカンのEU統合に向けた改革努力を支援していきます。

こうした日本の決意を改めて表明するとともに、今次フォーラムの成功を願ひ、私からの挨拶とさせていただきます。 (了)